

秘

内閣情報部五・二六 情報第六號

一重慶 U・P 新聞電報放送 (二十三日) (臺灣總督府交通局遞信部聽取)

國民軍事參議院副院長周恩來は本日コービー記者に對し支那の人力と資源を利用して支那を征服せんとする日本の新作戰に處すべき支那則對抗策の既要を左の如く語つた

日本は侵略と外國權益を驅逐せんとする基礎的對支政策を變更しないが有田外相、板垣陸相を始め銀行業者、財閥等の後援による日本の新作戰は戦線後方に於ける掃蕩戦を敢行し時期を待つて一舉に我軍を制壓せんとするにあり。日本軍は此剿滅戦を行はんが爲全軍の八五%を動員したが過去六ヶ月間に於ける大戦の戦果と目すべきは南昌と長陽戦に勝利を得たこと之以外は悉く失敗に終つた。蓋し我軍は全線に亘つて陣地を堅持し掃蕩戦地帯には正規軍の精銳を派遣し敵が優勢なる場合は我軍は之に應じて援軍を増派し頑強に抗戦を續けた。我軍は過去の戦績に徴し將來大にゲリラ戦法を應用せんとする方針で一部人士は我軍の此戦法には何等變化なしと稱すれども事實に於て大發展を遂げてゐる。我作戦の眼目は日本軍の後方にゲリラ隊の根據地を設置し敵を牽制すると同時に其戰鬥力を消耗せしめんとするにあり。此等の基地は五臺山脈の如き山嶽地帯に止まらず五夫附近平野に

も之を設け其内長さ七十五哩。幅二十五哩にも亘る廣漠たる地區もあるを以て斯かる基地に對して日本軍は尠くも一箇師團を配備する必要あるべし。日本軍は五臺山の掃蕩戰に當り五萬の兵を動し前後四回に亘つて攻撃を反復せしが悉く失敗に歸した。當時我軍は一箇聯隊毎に一日平均敵十名を斃してゐる。依つて此比例による各戰區に十箇聯隊を配置すれば一戰區にて一四萬名を斃し更に之を擴大し基地を百ヶ所に設置して一ヶ年繼續すれば三十六萬を殲滅し得る計算となる

日本樹立せる五項より成る新政策は(一)我國の經濟封鎖。(二)財政戰(三)我資源の開發、(四)支那全國を石炭、鐵、棉花、食鹽、茶、米等開發せし資源及生産品のダンピング市場化する事(五)北支の交通を整備し築港及河川の修築を行ふこと等である。日本は事變當初我海岸を封鎖して對外通商を遮斷し且我産業を破壊せんと計畫せしが現在では産業の復活に努めてゐる。日本海外貿易は著減し輸入超過を示してゐる蓋し原料の充分なる供給を仰ぎ得ざるが故なるべし。又日本は我國より一ヶ年一千萬噸の石炭の供給を仰がんとする希望を抱けるも實績に徴すれば一百萬内外に過ぎず。要するに日本は軍事的に我國を征服せざる限り産業の發展を望むは不可能である。聯合準備銀行券は發行當時一弗に付我法幣一弗四十仙を唱へたるも現在で地位を顛倒し正反對の相場を唱へる奇現象を呈してゐる

翻つて日本軍の行動を窺るに我軍は敵が前進行動を起さんとする都度機先を制して逆襲を

續けてゐるが近く開始されんとする大攻撃戰は我軍の精銳を遣つて敵線に送り一舉に勝敗を決せんと準備中である。日本軍今後の行動に付ては勿論豫斷を許さざるも悉く下の作戦に出づるものと見て可るべし。第一敵は最も有利な地點に向つて攻撃の火蓋を切る例へば南昌戰に於けるが如く我準備整はざる慮を衝きたるが如し。第二鐵路の如き重要交通機關の奪取、第三歐洲に於ける國際情勢の推移如何により英佛が斷乎結束した場合には必然的に我西南部が東南部又は西北部に向つて進軍行動を起す。第四愈々歐洲に戰亂勃發の際は以中の外在支外國權益を排斥する。云々

162

内閣情報部五・二六

情報第七號

成都中央通信社國際放送（二十三日）

一、香港發

（臺灣總督府交通局遞信部聴取）

(イ) 上海に又々日本側煽動の反英運動が勃發した。事件は去二十日午前六時五十分上海對岸の浦東にある英系連昌織物會社所屬の支那人苦力の解雇に端を發し上海の日本系新聞は此の事件を目して支那労働者壓迫なりと報道し形勢險惡を極めたので英國側では兵三十名を同工場に派し保護させた。

(ロ) 目下支那沿岸に於て日本海軍に抑留されて居る第三國商船は少くとも二三十隻あり、その中若干隻は日本系の日清汽船會社が使用して居る。之に對し各國船會社は本國政府の援助を懇請し、英國當業者の如き支那の港に安全に寄港出来る様要求してゐる。

延着報。在廈門英米佛三國領事は去十五日日本總領事に宛て共同通牒を以て(一)日本側では鼓浪嶼に於て抗日テロが起つたと稱するも事實を誇張し過ぎる即ちテロ事件はたつた二件しかない上その一は臺灣人が引起したのではないか日本側の不法檢舉と不法逮捕とは同地の秩序を亂す事甚だし。(二)日本側では同地にある日支人を保護する爲と稱しながら機關銃口を大陸の支那軍陣地に向け之と交戦せるは不可解なり。この抗議を發した。この抗議によれば第三國は自國人民の生命財産擁護の爲必要なる手段に出ずる事あるべきを示唆して居る。